



北区立浮間中学校

学校だより

校訓 真善美 ～人間としてあるべき理想の姿～

令和6年7月18日

第4号(7月号)

文責

校長 奥村 宏

## ◆2年東通村職場体験 6月26日(水)～29日(土)

コロナ後、2回目の東通村職場体験を実施しました。4名の生徒は、農業、酪農、漁業体験をさせていただき、1次産業の楽しさや難しさをほんの少し理解することができました。地元のテレビ局や新聞社の取材を受け、村長さんや教育長さんをはじめ、東通村全体で職場体験を応援していただきました。

### 【1日目】

7:58大宮発の新幹線に乗り、七戸十和田駅には10:37に到着しました。そこからは車での移動で、村役場に着いたのは、12:30でした。昼食後の入村式では、プレゼントされた緑色のつなぎを着て、職場体験に臨む決意表明をしました。午後は、砂丘の見学や<sup>かんだちめ</sup>寒立馬への餌やりで少しばかりの観光を楽しみました。



### 【2日目】

職場体験初日。2グループに分かれ、農園ではイチゴの箱詰めを、産業振興公社では、東通牛がどのように成長し、食肉となるのかを学びました。昼食後は、場所を変え、別の体験をしました。私は、農産物加工センターに同行し、サラミとブルーベリーの袋詰めをしました。どちらも商品として販売されるため、重さを均一にすることが大変なようでした。



### 【3日目】

この日は、漁港での職場体験でした。尻屋漁港では、多くのウニが水揚げされ、一個ずつ殻を割り、ウニを取りだし、ていねいに掃除をして商品となっていました。漁協の方からは、「ウニが高いのではなくて、手間がかかるから値段が高くなる。」と説明していただきました。漁船に乗せてもらい、ウニの水揚げを見ることができました。船の上で取れたてのウニを食べると、クリーミーな味が最高でした。男子2人は、船酔いと闘いながらウニを味わっていました。

野牛漁港では、ホタテの貝柱を貝から採る作業をしました。上手に採れなくても、味は変わりませんでした。



## 【4日目】

農産物加工センターでそば打ち体験をしました。そば粉 100%のそばは、練るのも伸ばすのも、そして切る時にも神経を使うことがわかりました。ゆでたてのそばは、風味と歯ごたえが違いました。昼食には、生徒が打ったそばと、そば打ち名人が打ったそばを食べ比べてみました。コメントは差し控えます。修了証書授与式では、<sup>やませ</sup>東風塾長から修了証を頂き、この4日間で体験した感想をしっかりと発表していました。

残念ながら、7/13(土)に予定していたホタテ販売は、中止となってしまいました。漁港の方は言っていないようですが、水温の上昇が原因ではないかと思いました。決して私の食べ過ぎのせいではありません。



## ◆スクールコンサート 7月4日(木) ⑤⑥校時

体育館に入場すると、フロアには木琴が、舞台には、ドラムや民族楽器があり、始まる前からわくわくしていました。演奏はもちろん、説明も中学生向けに工夫されていて、大変楽しいコンサートでした。浮間中の体育館は、音響効果が素晴らしいことがわかりました。きっと木をふんだんに使用しているからだと思います。目をつぶっていると、サントリーホールにいるかのようでした。同時に特別支援学級進路講演会があり、後ろ髪を引かれる思いで体育館を後にしました。



## ◆特別支援学級進路講演会 7月4日(木) 赤羽会館

今回の進路講演会は、スクールコンサートの関係で、3年生のみの参加となりました。北豊島高等学校通信課程の説明では、様々な生徒のニーズに応えている学校だということがわかりました。都立練馬特別支援学校職能開発科の説明では、卒業するまでに手に職を付けるカリキュラムが組み立てられていることがわかりました。1日7時間の授業には皆で驚いていました。

## ◆非行のない明るい街づくり住民大会 7月10日(水) 赤羽会館

赤羽地区の小中学校が参加する「非行のない明るい街づくり住民大会」は、今回で41回目です。それぞれの学校の代表児童、生徒が意見発表を行い、浮間中学校吹奏楽部の演奏で会場を盛り上げました。

浮間中学校を代表して、2年4組の〇〇〇〇さんが「優しさの継承」という題で発表しました。他の学校の先生から、「内容も立派で、原稿なしで発表することに感動しました。」という言葉を受けました。「浮中では当たり前のことです。」と言いたかったです。

## ◆教職員人事異動のお知らせ

7月11日(木)付で、育児休業が終了した家庭科の〇〇〇〇先生が職場復帰しました。今までお世話になりました〇〇〇〇先生は、ご退職なさいました。

## ◆編集後悔

- ・6月後半から7月にかけて行事が多く、学校だよりの発行が遅れてしまいました。
- ・最近、「学校だよりを楽しみにしています。」と2名の方から声をかけられました。7月号はご期待に応えられたでしょうか？